

は~とねっと♥

Heart Net

10
vol.

は~とねっと♥
ご自由に
お持ちください



P.2 移転あいさつ

P.3 回復期リハビリ

P.8 伝言板

2011年9月、当院は施設を新築移転しました

施設オープン記念 フロア案内

P.4~
P.7

HeartNet

DECEMBER 2011 Vol.10

発行／特定医療法人 札幌白石脳神経外科病院 制作／院内広報委員会＆総合商研ふりっぱー

TEL(011)863-5151(代表)

Design: Maika Yumura

循環器内科外来を開設しました ~医師紹介~

1 名 前 宮田 節也

プロフィール

2 血液型 B型
3 出身地 佐呂間町

4 趣味、特技・ジム通い・旅行

5 患者さんへのメッセージ

循環器疾患はもちろん、糖尿病や動脈硬化などについて、お悩みがありましたらいつでもご相談下さい



外来担当医表

	月	火	水	木	金	土	
午前	高橋	野中	大坊	野中 ※1	大坊	米増	交代制
午後	大坊	斎藤 <small>(第1~3週) 安藤 <small>(第2~4週)</small></small>	安藤	恩田	恩田	本田	宮田 ※2
				大坊	野中	安藤	本田

※1:脳血管内治療専門外来 ※2:循環器内科外来

編集後記 STAFF VOICE

中西 陽一

ブルーベリーの樹が、とっても綺麗に紅葉しました！でも、この時期が過ぎると、すぐそこに寒い冬が待っているんですね（≧○≦）

笹森 大輔

自宅のスピーカーの音を変えたくて、5年前に使っていたケーブルに変えてみました。ケーブル一本で音が全く違う！変化は小さなことで起こせると感じながら、ゆっくり音を楽しみました。

丸山 亜矢子

新しく広報委員に仲間入りしました。宜しくお願いします。9月・10月と頑張った自分に、ご褒美で腕時計を買いました。

小川 智美

娘の吹奏楽全国大会に付き添って浅草に行つてきました。好成績を祈って参拝した後、たまたま見知らぬカップルのこんなベストショットを撮っちゃいました。

山寺 康文

新棟への移転が終わり、やっと新病院での仕事にも慣れてきました。これからまた、新たな気持ちで励んでいきたいと思います。

福司 久美子

石狩の某農園をお手伝いにGO！レッドアンデスという芋を見たことがありますか？表面が赤い！その他にも芋の種類は沢山あります！

大道 鈴巴

休日の自分のための褒美です。疲れている時はやっぱり甘いものですね!!日頃の疲れも癒され、また頑張ろうという気持ちになります☆

塚本 健太

新しく広報委員となりました。宜しくお願いします。先日、友人の結婚式に参加してきました。感動的で素敵な時間を過ごすことが出来ました。

理念

患者様に理解・信頼され、医師にも信頼される病院を目指します。

1. 医の倫理を重んじ、安全かつ高水準で、患者様のための最善の医療を提供します。
2. 患者様のプライバシーを守り、必要な説明責任を果たします。また、ご自身の医療について知る権利・選択する権利・決定する権利を最大限尊重します。
3. 職員は自らの知識・技術・マナーの向上を図り、医療人として自覚し資質を高めるよう研鑽します。
4. 地域住民の健康管理を通して予防医療を行い、地域医療に貢献します。

平等かつ公平に医療を受ける権利

病気、性別、年齢、社会的立場、宗教などにかかわらず、どなたでも平等に適切な医療を受けることが出来ます。

良質な医療を受ける権利

安全で最善の医療を効率的に受けることが出来ます。

十分な説明と情報提供を受ける権利

病気、検査、治療、危険性、他の治療方法や見通しなどについて、理解しやすい言葉や方法で、十分な説明と情報の提供を受ける事が出来ます。

自己決定の権利

十分な説明と情報提供を受けた上で、治療方法などを自らの意志で選択・拒否することが出来ます。

選択の自由の権利

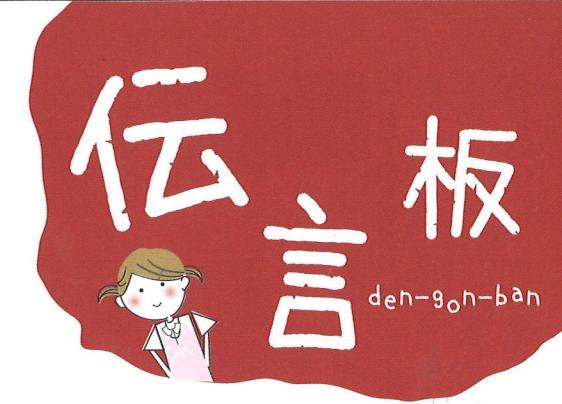
医療機関を自由に選択・変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求めることが出来ます。

個人情報が守られる権利

診療上得られた個人情報を、ご自身の承諾なしにみだりに、他人に漏らされることはありません。

苦情を申し立てる権利

マナーや対応についてご意見がありましたら、意見箱及び、相談窓口を御利用下さい。



看護師募集のおしらせ/

私たちと一緒に働いてくださる看護師のみなさんを募集しております。詳しくは、当院看護部ホームページhttp://www.ssn-hp.jp/recruitまたは、問合せ:看護部長・田代まで

011-863-5151(代表)

名称／特定医療法人 札幌白石脳神経外科病院
診療科目／脳神経外科、脳血管内治療科、
循環器内科、リハビリテーション科
住所／〒003-0026
札幌市白石区本通8丁目南1番10号
電話／代表(011)863-5151
FAX／(011)863-5161
HPアドレス／http://www.ssn-hp.jp/

札幌白石脳神経外科病院



札幌白石脳神経外科病院
理事長 兼院長
大坊 雅彦

札幌白石脳神経外科病院 新築移転のごあいさつ

白石脳神経外科病院は、「札幌白石脳神経外科病院」と改称し、本通8丁目に平成23年9月21日新築移転することができました。今後とも、皆様に最新の医療を提供できるよう、職員一同、努力していきます。



新施設紹介 回復期リハビリテーション病棟 新設

当院では11月より「回復期リハビリテーション病棟」を開設いたしました。

回復期リハビリテーション病棟とは、患者さんの自宅復帰や社会復帰を支援するために、病棟生活を通して集中的・専門的にリハビリテーショ

ンを行っていく上

で必要な身体・認知機能の向上や、職業復帰に向けたプログラム、またご自宅へ退院された後のサービスの検討など、主治医や看護師、リハビリ専門職、MSW（医療ソーシャルワーカー）、栄養士、薬剤師が連携し、治療プランや方針を立てていきます。

当院のリハビリテーション科は理学療法（PT）、作業療法（OT）、言語療法（ST）の3部門で構成しています。それぞれの療法士が専門性を活かし、患者さん一人ひとりに合った治療を提供します。

また当院では脳神経外科の急性期病院として、入院早期より外科的・内科的治療、高圧酸素治療などと共に、リハビリによる発症早期の離床や機能訓練を進めていくことで、その後の治療効果にも良い影響を与えることができると言えます。

このように、リハビリを通じて、患者さんやご家族様の多様なニーズに応えられる病棟として今後も研鑽していく予定です。宜しくお願いします。



リハビリテーション室



実際の生活に近い環境で布団の上げ下ろしの練習などができる、本格和室を備えています



急性期リハビリでは、早期離床（座位・起立・歩行等）を行うことにより効果的な機能回復を目指します



チーム全員で患者さんの状態を評価し、リハビリ計画を立てて治療を行います

脳卒中（脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）、脳腫瘍、外傷などの病気は、皆様の人生を左右する重大な疾患です。しかし、治療法は少しずつですが確実に進歩しています。最近では超急性期の脳梗塞に使用する血栓溶解剤（t-PA）の使用や、血栓除去用のカテーテルの導入があります。また、一過性脳虚血発作（短時間の神経症状の出現があり、その後消失してしまう発作）が高頻度に脳梗塞に移行するため、きちんと検査と治療が必要である、との病態の認識の進歩があります。検査を行う事により、発症前

に治療することが可能となっている疾患（脳動脈瘤、頸動脈狭窄）もあります。

さて、この度新病院に移転する事により、アメニティの向上と治療環境の効率化を図ることができました。また、回復期リハビリ病棟という脳卒中後の麻痺や失語などの症状を改善に向けて訓練する病棟もつくりました。これは多くの方に自宅へ戻っていただきたいための施設です。

今後も、患者様に高度で適切な医療を提供できるよう研鑽してまいります。



札幌白石脳神経外科病院副院長
脳血管内治療センター長
野中 雅

当院では、札幌市白石区本通15丁目に開業して以来、約30年間、白石区さらには近隣の区町村の住民の方々の救急医療（特に脳卒中治療と予防）に取り組んでまいりましたが、平成21年には脳血管内治療センターを併設し、脳血管障害に対し、これまでの外科手術に加え、カテーテル治療を応用した“からだにやさしい治療”的な力を注いでおります。おかげさまで、センター開設2年目には350件の年間手術件数のうちの4割を、血管内手術が担うことができました。

新病院では、最新のMRIとCT、脳血流測定機器を装備し、脳動脈瘤のコイル塞栓術、頸部頸動脈狭窄症に対するステント留置術、さらには脳梗塞急性期に対する血栓溶解療法と共に引き続き再開通療法など、最新の治療が的確に行える環境を整えることができました。

今後とも周辺住民の皆様の救急医療の一端を担うとともに、脳卒中診療における最新の治療をお届けできるよう頑張りたいと思います。

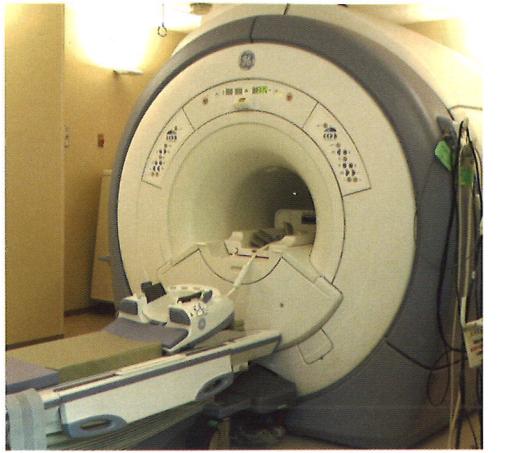
札幌白石脳神経外科病院

フロア案内

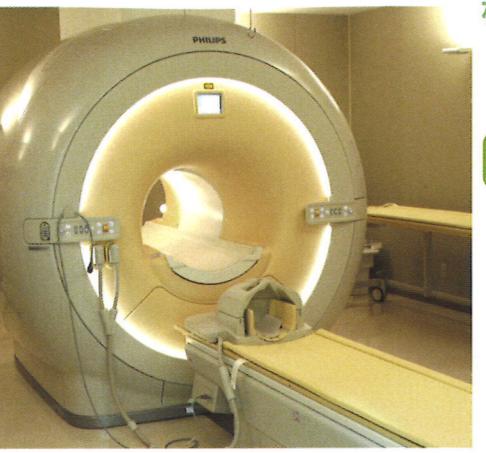
2011年9月、当院は施設を新築移転しました。最新の治療機器を導入し、血管内治療をはじめとする新しい治療方法を提供するとともに、快適な入院生活のための施設の拡充、

リハビリ部門の充実など、脳外科としてトータルで満足していただける医療サービスを提供します。ここでは、そんな施設の一部を紹介します。

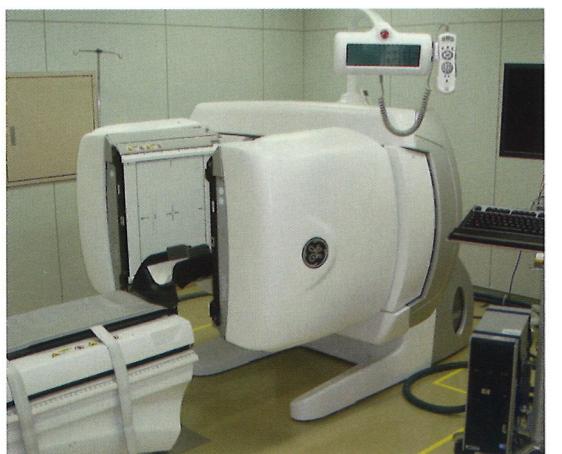
フロアマップ



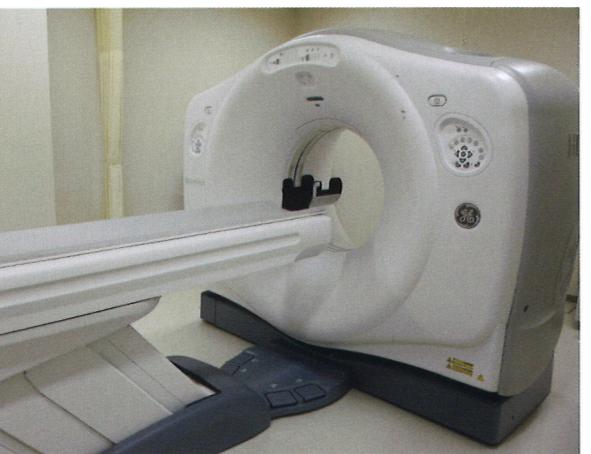
MRI GE 社製 Sigma HDxt 3.0T



MRI PHILIPS 社製 Achieva TX 3.0T



RI(SPECT)GE 社製 Infinia3

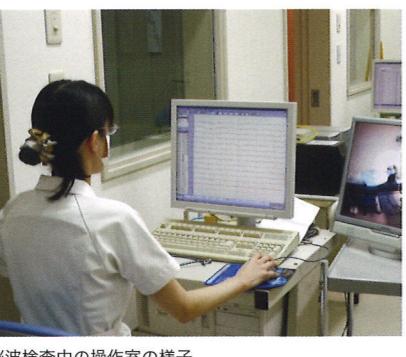


CT GE 社製 Discovery 750 HD 道内1号機

方針や治療効果を確認する目的のために脳の働き具合（脳機能）を調べるRI（核医学検査）などを担っています。MRIは3台稼働。3.0T MRIが2台稼働している道内唯一の病院です。



ABI（足関節／上腕血圧比）
足の動脈狭窄の可能性や心臓や脳の臓器障害の併発リスクを調べます



脳波検査中の操作室の様子

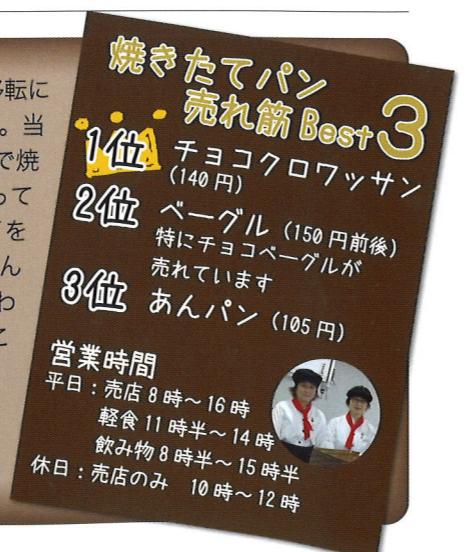
『生理検査科』
超音波エコー・や脳波、心電図、ABR（聴性脳幹反射）、ABI（足関節／上腕血圧比）などの、いわゆる患者さんの身体の生理的な機能を調べる検査を担っています。
検査部門は、最新鋭の医療装置を配置して、患者さんにとって『より質の高い診断情報』を提供することで、みなさんに満足していただける医療サービスの提供に努めてまいります。

焼きたてパンが充実 売店・喫茶コーナー



札幌白石脳神経外科病院の売店も、移転に伴いリニューアルオープン致しました。当院売店のおススメポイントは、その場で焼限定の商品を用意しています。たとえば、11月末までは秋限定のリンゴパンやアップルパイを提供していました。11時半から12時に焼き上がるよう正在しているので、患者さんはもちろん病院スタッフにも喜ばれています。また、店内では軽食を召し上げることもできます。日替わりランチやそば・うどんなどを提供しております。一番人気は、寒くなっているということもあり「みそラーメン」です。

その他にも、店内にはリハビリ用のスニーカーも販売しております。当院リハビリスタッフからは歩行訓練のためにスニーカーをおすすめいたします。



ご利用希望者募集中！

当院の待合ロビーには展示スペースを設けています。市民の皆様が日頃の芸術活動で創作した、絵画・書道・工芸などを展示し、作品発表・鑑賞の場としてご提供いたします。ご希望の方は、当院受付窓口にお申出下さい。
※展覧会名に個人名・企業名はお使いいただけません。



笑顔がモットーの受付職員。お気軽に声をかけてください

を確保いたしました。
受付カウンターでは、職員が笑顔で皆様をお迎えします。御用の際は声をお掛け下さい。



雨よけの
ひさしが長
く、タクシ
ー や送迎車
が止めやす
い正面玄
関。そこか
ら入ると落
ち着いた外
来待合室が
広がりま
す。旭川家具メーカーのカンディハイ
ウスにオーダーした椅子の一つひとつには手すりが設置され、隣同士が
気兼ねなく、落ち着いて座ることができます。患者さんが車椅子で来院された際には、車椅子同士がぶつかることなくすれ違えるようスペース

外來待合室は、椅子をゆったりと配置して落ち着きのある空間を目指しました



雨よけの
ひさしが長
く、タクシ
ー や送迎車
が止めやす
い正面玄
関。そこか
ら入ると落
ち着いた外
来待合室が
広がりま
す。旭川家具メーカーのカンディハイ
ウスにオーダーした椅子の一つひとつには手すりが設置され、隣同士が
気兼ねなく、落ち着いて座ることができます。患者さんが車椅子で来院された際には、車椅子同士がぶつかることなくすれ違えるようスペース

外來待合室は、椅子をゆったりと配置して落ち着きのある空間を目指しました

2011年9月、当院は施設を新築移転しました。最新の治療機器を導入し、血管内治療をはじめとする新しい治療方法を提供するとともに、快適な入院生活のための施設の拡充、

リハビリ部門の充実など、脳外科としてトータルで満足していただける医療サービスを提供します。ここでは、そんな施設の一部を紹介します。



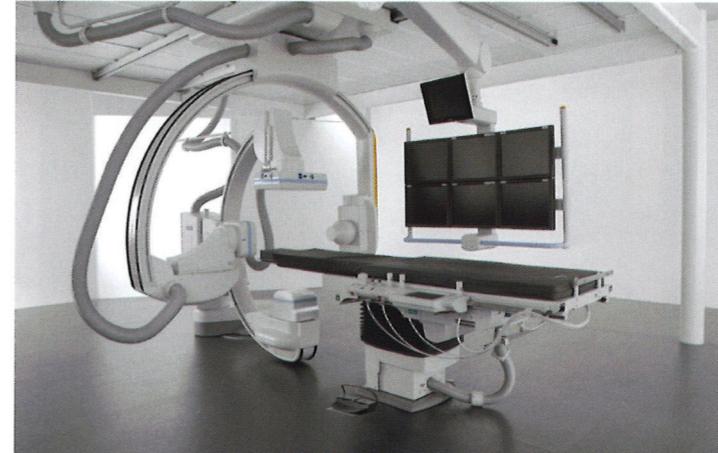
治療とは、体の表面近くにある太い動脈（足の付け根など）から、超極細のカテーテルという管を治療

対象となる脳や頸部の動脈に挿入して、血管の内部から脳血管の異常（脳卒中）や脳腫瘍、あるいは脊髄の病気を治療します。従来の開頭手術では治療が困難であった様々な病気も、この新しい方法によって治療可能とな



カテーテルを用いた、脳血管内治療の様子

当センターでは最新医療機器を導入いたしました。血管内治療において画像診断装置の進歩は治療の確実性、安全性を高めるために不可欠です。DSA・CT・MRI・SPECTなどを用いて、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤や、脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症、そして動脈奇形や硬膜動脈瘤などの診断・治療を行っております。

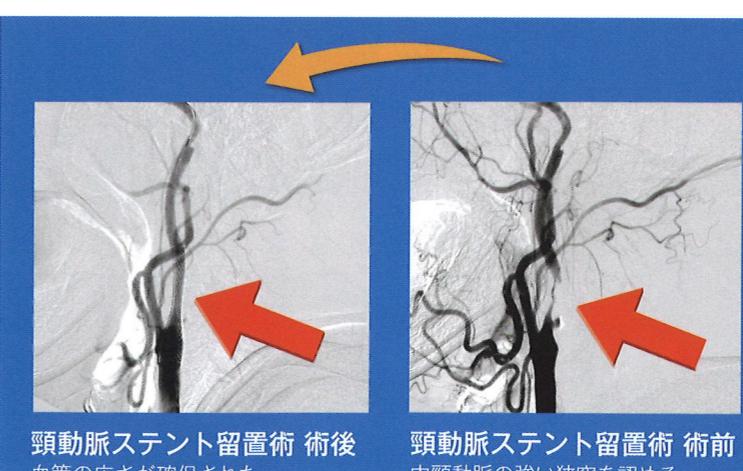


シーメンス社製「AXIOM Artis dBA」

脳血管内治療つてなに？

1. 虚血性の病気
一ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、脳塞栓症、一過性脳虚血发作（TIA）

頸動脈の動脈硬化が進み、血管の内腔が狭くなると脳への血流が悪くなり、脳の機能が低下します。内頸動脈ステント留置術は血管の内側から血管を拡張し脳の血流の状態を改善します。

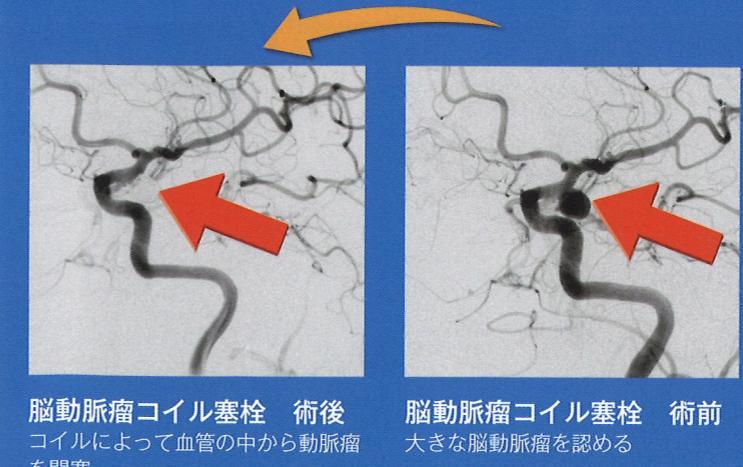


頸動脈ステント留置術 術後
血管の広さが確保された。

頸動脈ステント留置術 術前
内頸動脈の強い狭窄を認める。

2. 出血性の病気
一脳動脈瘤（破裂、未破裂）、脳動静脈畸形、硬膜動脈瘤など

脳動脈瘤は破裂すると、くも膜下出血を引き起こし重篤な状態になります。脳動脈瘤コイル塞栓術は、破裂していない動脈瘤の破裂予防や、破裂した動脈瘤の再破裂予防的目的に行われます。



脳動脈瘤コイル塞栓 術後
コイルによって血管の中から動脈瘤を閉塞

脳動脈瘤コイル塞栓 術前
大きな脳動脈瘤を認める



2~4F 病棟

新棟の入院病棟は2階（急性期病棟32床）、3階（回復期リハビリテーション病棟33床）、4階（一般病棟38床）の配置となっています。

2階は10床のICUを設置し、救急入院を含む急性期状態にある患者さんの看護をしています。ナースステーションはオープンカウンターで、どなたでも声をかけやすい雰囲気と、患者さんの観察がしやすいフロアとなりっています。病棟は白木を基調とした壁で、明るく柔らかい雰囲気であり、急な入院での緊張や不安を少しでも少なくして頂けるようにと考えています。

西側のスペースには円形の大きな出窓があり、入院患者さんの食堂と、面会者との談話室として利用して頂いています。また手術室前に、手術機されるための個室を設けています。また、ICUに隣接して医師からの病状説明ができる個室があり、説明



快適な入院生活が送れるよう、施設を充実させています



2~4階のナースステーションは各フロアが見渡せるよう真ん中に配置し、HCUなどの各処置室と接しています

10床のベッドを備えたICUは、ナースステーションと隣接し、最善の治療・看護ができる環境です

2階病棟。
1床1床のスペースを幅広くとっています



高気圧・高濃度の酸素吸入ができるカプセル



高気圧
酸素治療室

高気圧酸素治療とは、脳の血管が細くなったり、詰まつたりして、脳の組織に十分な酸素が届かなくなつた状態を改善するため、気密したカプセルの中で、高気圧・高濃度の酸素吸入を行い、組織の酸素欠乏状態を改善して障害部位を最小にし、組織再生を図る治療方法です。とくに脳梗塞による麻痺の改善に有効で、骨髄炎や一酸化炭素中毒の患者さんにも有効な治療です。